能登半島地震からの復興に向けて

NO.5
2024年5月

ー金沢からの報告ー

前号(No.4)は歴史的な建築物について報告したが、本号(No.5)では、歴史的な建築物によって形成されている町並みの被災実態と今後の復興のあり方を報告する。

◆歴史的な建築物による町並み

能登地域の自然はやさしい。比較的なだらかな丘陵の半島が日本海に囲まれ、ゆったりと屈曲した海岸沿いに集落が点在する。春には珠洲市の海岸に自生する藪椿が美しく、輪島市の猿山岬には雪割草が可憐な花を咲かせる(写真1)。桃源郷のようだ。しかし、冬の自然は厳しい。日本海から季節風が吹き、海は荒れる。とくに外浦は風雪が強く、人々は暗く長い冬を耐え抜く。そうした中でも、女達は岩海苔採りに勤しみ、男達は集落を風雪から守る間垣の手入れに精を出す。

江戸期から明治期まで日本海側は北前船の交易により物流の中心を担っていた。能登では七尾、輪島、黒島、福浦、加賀では宮腰(金石)、橋立、本吉湊(美川)に寄港した。各港を拠点とした船主と船員達の集落は今でも建物や町並みに繁栄した時代の栄華を残している。その中で黒島地区は、北前船の船主や船頭・水夫が多く居住し、町並みがよく残されているとして重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に2009年に指定されている。

そうした文化財指定までに至らないまでも、歴史的な建築物と町並みは数多く継承されて来た。北から輪島市河井町、鳳至町、総持寺門前通り、珠洲市蛸島、正院、穴水町中居、七尾市一本杉通り、中能登町良川、久江など。建物の基本形は切妻、壁は下見板張り、黒瓦であるが、それぞれの地域で特徴があり、妻入りの建物が多いが平入も混在し、押縁下見板張りも混在する。輪島市中心部では、妻入りの主屋の前面に下屋のつく「浜屋造」という固有の様式名を持つものもあり、各地で多彩な建築文化を見ることができる。

写真２は珠洲市外浦の集落景観例である。自然景観と一体となった、切妻、黒瓦の家並みの風景が美しい。なお、地震後であるため、一部の屋根にブルーシートが掛けられている。また、海岸の白い部分は地盤が隆起したものである。

写真１　猿山岬からの風景(地震前)

写真２　珠洲市外浦(地震後)

写真３　輪島市黒島地区の被災例

◆輪島市黒島地区の被災と復興

前述の輪島市黒島地区も大きな被災がみられた(写真３)。黒島地区の町並みは以前より知られていたが、2007年能登半島地震を契機として復興目的も込めて重伝建に指定されたものである。指定に向けて地区住民による「まちづくり協議会」が設立され、被災建物の修復やコンクリートブロック塀から板塀への構築などに努めて来た。指定後は、そうした修復には工事費の80%まで1,000万円を限度として国、県、市により補助する手厚い仕組みがあり、2010～2021年度までに修理事業33件、修景事業37件が行われて来た。

黒島地区は指定面積約20.5haに保存地区内の建築物

（主屋）は255棟で、人口は453名（2005年国勢調査）であった。このうち空家が49棟であり、空き家率も19％と高かった[文1)]。 そのうち伝統様式を残すとして148棟が特定物件とされている。

黒島地区全体としては599件の建物があり、今回の地震で4月17日現在、91件が全壊、137件が半壊、88件が準半壊とかなり大きな被災を受けた[文2)]。

前回の地震の復興過程にあって再度さらにより大きな地震に襲われたことになる。かなり手厚い補助の仕組みがあるとはいえ、住民には大きな負担であり、心理的なダメージも大きい。なお、輪島市は今回の復興に関連して、補助率のかさ上げと限度額の撤廃の方針を住民に伝えている[文3)]。

民間の建築士グループなどが被災した建物所有者に修復の提案を行うなど努めているが、そうした取り組みが住民に受け入れられ、歴史的な建築物の修復が順調に進むように心から願っている[文4)]。

黒島地区の中心的な建物は、船主の館である角海家であるが、2007年地震で大きく傾き、その後、所有者より土地と建物の寄附を受け、改修工事が行われ、2011年7月に竣工し、2016年には、それまでの県指定文化財から国指定の重要文化財へと指定が変更された。改修工事では、基礎として、礎石の下に地中梁を設け、主屋部分は鋼管杭（最長7m）を支持地盤まで到達させるようにし、壁量の増加、強度不足の部材に対する補強、必要な箇所に添え柱を設けて耐力を補強するなどかなり入念な耐震改修がなされた[文5)]。

しかし、今回の地震により、写真４に示すように、右側の主屋が倒壊し、左側の米蔵、小豆蔵、塩物蔵も大きく傾いてしまった。現在、大きく被災した要因等について分析等が行われていると思われるが、再度の改修に際してはぜひ今回規模の地震にも耐え得るように改修されることを期待したい。

◆歴史的な町並みの復興

歴史的な町並みの復興について、前節で説明した黒島地区の場合は、重伝建というわが国で最も充実した仕組みがあり手厚い補助も受けられ、時間を要するとしても復興整備は進むと思われるが、問題はその他の地区である。

前号(No.4)で報告したように、住家の被災は「一部損壊」を含み能登北部で32,976棟、能登南部で28,057棟である。公費解体制度があり、申請にもとづいて被災建物の解体が進められるが、石川県では申請が約22,000棟になると推計している。5月末現在、各市町において少しずつ解体作業が進められているが、すべての解体には数年要すると見込まれている。解体申請には、原則として所有者全員の同意が必要で、能登地域では相続上の名義変更を行っていない事例が多く、申請に困難をきわめていることが報道されている。

写真４　倒壊した角海家の建物

図１　総持寺周辺地区の修景基準[注1)]

写真５　総持寺周辺地区の修景例[注2)]

解体に年月を要するとしても、これだけ多くの建物が解体されていくと、歴史的な町並みが形成されていた地区でも歯抜けのように空き地が増え、一部の跡地には新築の建物が徐々に建築されていくことになる。能登地域では、歴史的な建築物が連なる町並み景観が大きな魅力であるが、その継承、存続が困難となっており、危機的状況である。

国土交通省による街並み環境整備事業がある。本制度は、住環境の整備改善を必要とする区域において、自治体と街づくり協定を結んだ住民が協力して美しい景観の形成と良好な居住環境の整備を行うことを国が支援する事業である[文6)]。

石川県では、輪島市鳳至上町、総持寺周辺地区、珠洲市蛸島などで本事業が実施されて来た。総持寺周辺地区では三段階の建物の修景基準が作成されたが、図１にその例を示している。2007年地震の前から取り組まれてい

たが、2007年の復興時に写真５にみられるように、そうした修景基準に合わせた建物の修景が行われた。

また、2007年地震の復興に際しては、石川県は新築、建替えに「能登ふるさと住宅」を推奨した。同住宅は、街並み景観に配慮した良質な住宅を供給することを目的とし、世帯構成や住まい方に合わせて16タイプ提案された。共通仕様にすることにより、設計費軽減、低コスト化を図ろうとしているものである。写真６は実際に輪島市道下地区に建築された事例であり、面積74.5㎡、３DK、1,250万円の建物である。

これらの街並み環境整備事業及び能登ふるさと住宅の取り組みは今回の地震の復興に際しても有効であり、それらの内容、実績などを精査し、同様の取り組みを行うことが望ましい。また、街並み環境整備事業については、他地区についても積極的に適用することを検討してほしい。ただし、それらの補助額が必ずしも十分とは言えず、今回の復興に際しては、補助金を上乗せする工夫をしてより多くの建替え等に採用されるようにする必要がある。

◆歴史的な町並み景観の保全・継承

石川県は「いしかわ総合景観条例(2008年)」にもとづいて県全域を景観エリアとし、重要な区域を景観形成重要エリアとして指定している。図２に能登地域の指定エリアを示している。指定により、大規模な建築物や工作物、屋外広告物の新設に対して届け出を義務づけ、色彩やデザインなとを規制、誘導するものである。しかし、歴史的な建築物や町並みの保全に直接対応するものではない。

また、上記の条例にもとづいて、1994年度より「景観大賞」や「景観賞」を授与しており、歴史的町並みに関わるものとして能登地域では「珠洲市蛸島町・白壁と下見板張りの町並み(1994年)」、「能登中居さとりの道(1998年)」、「七尾市・山の寺瞑想の道(2000年)」、「輪島市馬場埼通り・賑わいの道づくり事業(2006年)」、「七尾市・一本杉通り(2009年)」、「能登町宇出津・新町通り(2010年)」、「中能登町・古民家みやおの里(2013年)」などがある。しかし、これらは景観形成に貢献した新規事業に対して事業者等を顕彰するものであり、やはり歴史的な建築物や町並みを直接保全等するものではない。

石川県内の市町が独自で歴史的町並み等を指定して保全、継承を図る仕組みは金沢市が有しているが、その他の市町ではとくに見当たらない。

金沢市の事例としては「こまちなみ保存条例」にもとづく仕組みが最も参考になる。同条例にもとづいて2024年5月現在９つの「こまちなみ保存区域」が指定されている(写真８)。それぞれの区域内の歴史的建築物については「伝統的建造物」とし、区域内の建物の増改築や建替えに届け出を義務づける。届け出にもとづいて、申請者の代理である建築士と担当課の建築職などの技術系職員が協議を重ねるなどして最終的な設計、施工を行う仕組

写真６　「能登ふるさと住宅」の例注3)

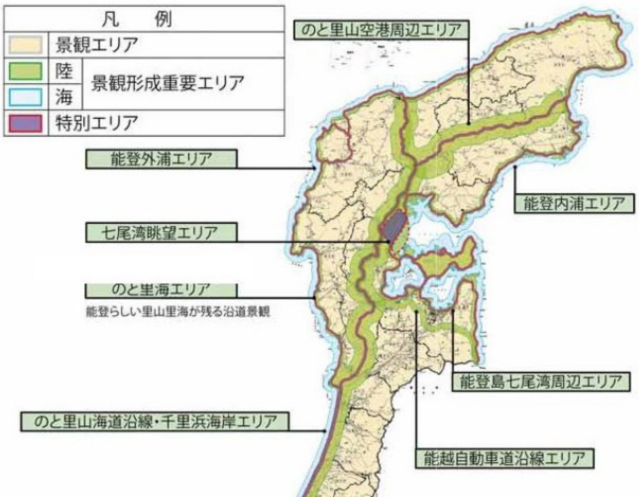

図２　石川県の景観形成重要エリア注4)

写真７　中能登町の町並み(地震前)

写真８　こまちなみ保存区域(里見町)

みである。工事費については、表１に示すように、伝統的建造物の建物については「外観修景工事等」に対して補助率70%、限度額500万円である。ただし、市長と所有者が契約した建物の場合、限度額が700万円になる。また、その他の豊富なメニューもあり、かなり充実した制度である。重伝建制度の自治体版とも言え、全国的にも、他の自治体ではあまり見られない制度であり、注目されている。

また、この他に、市中心部の旧城下町区域などの歴史的建築物を「金澤町家」と名づけ、「金澤町家条例」にもとづいて、それらの改修に対して同様の補助を行っているが、これについては、前号(No.4)でも報告している。

これらの金沢市の自主条例にもとづく制度は、歴史的な建築物と町並みの保全、継承には参考になるが、財源や人的対応力などからみて他自治体が導入することは簡単ではない。

なお、金沢市のこれらの制度については文12,13)を参考にしていただきたい。

◆おわりに

石川県は今回の地震からの復興に向けて復興計画案をとりまとめた。６月議会の審議を経て正式決定される予定である[文14)]。同計画案の基本理念を「創造的復興」としており、それには大いに賛成したい。ただし、具体化となると簡単ではない。

本号(No.5)のテーマである、歴史的な町並みの保全、継承について「創造的復興」を考えてみる。歴史的町並みが形成されていた地区では、できるだけ多くの建物が必要な修復がなされて継承され、建替え等される場合も、前述の街並み環境整備事業や「新・能登ふるさと住宅」による、町並みと調和する、耐震性も確保された、新しい歴史的な町並みが形成されていくとよい。

そこでは、町並みだけでなく、２地域居住などの人々も居住し、新しく整備された交流施設や広場で地域の人々と交流していくような社会が形成されていくとよい。

そうした方向へ進むには、石川県が市町を支援し、必要に応じて、直接、市町と連携して施策を担っていく必要がある。テーマは異なるが石川県は「バリアフリー社会推進条例(1997年)」を制定し、県全域でバリアフリーを進める、先進的な取り組みを四半世紀にわたり行って来ている。歴史的な建築物と町並みの継承と保全にも同様の取り組みが考えられてもよいと思う。

注
1)文7)より引用
2)文7)より引用
3)文8)より引用
4)文9)の図の一部を引用
5)文11)を参考に作成

表１　こまちなみ保存区域の伝統的建造物に対する補助[注5)]

種　類	対象工事	補助率	限度額
修復事業	外観の修景工事・内部改修工事	70%	500万円*1 (内部改修は50万円)
建築物修景事業	修繕等の設計	30%	30万円
防災施設整備事業	防災施設の整備	70%	300万円
防災構造物整備事業	限界耐力計算法による診断	75%	30万円
	上記診断による設計	2/3	20万円
	防災構造整備工事	70%	300万円
格子戸修景工事	格子戸修景事業	70%	―

*1 伝統的建造物で市長と所有者が契約した建物については限度額700万円とする。

参考文献

1)輪島市教育委員会、輪島市黒島地区伝統的建造物群 保存地区保存計画、2009年
2)北陸中日新聞、「地震と重伝建」高齢化、避難･･･町並み再生へ　「根気と予算」がカギ、2024年3月24日
3)北陸中日新聞、「門前・黒島の修理　補助率かさ上げへ」、2024年4月16日
4)北陸中日新聞、「残そう輪島の町並み　修復へ調査進む」、2024年5月8日
5)リーフレット「角海家住宅及び土蔵」、2011年
6)国土交通省住宅局、「街並み環境整備事業パンフレット」、2019年
7)石川県、「いしかわまちづくりView No.37」、2011年8月
8)石川県、「いしかわまちづくりView N.31」、2008年7月
9)石川県、「いしかわの景観づくり」
10)石川県、「いしかわの景観大賞　作品集1994～2013」
11)金沢市、「歴史が薫る『ちょっといい町』こまちなみ」、2009年
12)川上光彦、金沢のまちづくり計画・運動の歩み、地域開発、Vol.473、pp.6-12、2004年
13)川上光彦、金沢市における歴史的建築物の継承と利活用、日本都市計画学会中部支部編『集約型都市構造への転換とそのプロセスプランニングに向けて』所収、2015年
14)石川県、「石川県創造的復興プラン(仮称)」、2024年5月

「能登半島地震からの復興に向けて」
No.5、2024年5月　【禁・無断転載】

カワカミ都市計画研究室　川上光彦
金沢大学名誉教授
Ｅメール kawakamim@staff.kanazawa-u.ac.jp
https://www.kawakami-lab.com/